

2025 社会福祉表彰（知事表彰）受賞者の概要

（信州ねんりんピック「文化・芸術交流大会」での表彰者）

(敬称略・順不同)

区 分	氏 名（団体名） 住所（所在地）	主な功績等
（公財） 長野県長寿社会 開発センター 賛助会活動関係	こばやし なおみ 小林 直美 （安曇野市）	パソコン同好会として松本合同庁舎会議室において定期的に勉強会を開催し、スキルアップと地域での役員活動に役立っている。また、グループで学んだことを松本地区賛助会の会報「まつもと」の編集にも活かしている。 出納簿や決算書、住所録、パンフレット作成など、シニア世代が地域の役員活動で活用できるように学習の機会を設けている。Zoom などの新しいツールも積極的に取り入れ、オンライン会議も自宅に参加するなど、時代に合わせた行動をしている。
	たかぎ えいこ 高木 榮子 （大町市）	大北地区賛助会幹事（会計）を平成 28 年から 9 年間継続して担い、限りある予算の適切な管理・執行に努めるなど、その確実な仕事ぶりは会員からの信頼も厚い。特に、会報の印刷を業者委託から事務局印刷に見直し、また、会報の配布を郵送から手渡しに変更することにより、経費を削減し、その費用を研修事業等の活動費増額に繋げ、戦略的に目標を達成し、会の充実を図った。
	シニア大学OB コーラス （山ノ内町）	平成 21 年度シニア大学卒業生を中心に平成 22 年 4 月から活動を開始し、現在に至るまで 14 年間、毎月 2 回飯山市公民館で施設訪問に向けたコーラスの練習をし、仲間づくりや生きがいづくりの場にもなっている。（現在の会員数 14 名、活動頻度毎月 2 回） コーラス活動を通じて会員の生きがいづくり、会員同士の親睦の促進や地域社会とのつながりに貢献している。また、高齢者福祉施設でのコーラスボランティア活動を通じて、利用者のストレス解消や認知症予防など、福祉の向上に貢献している。
	ものづくりクラブ チャームシルク （松本市）	長野県シニア大学の社会参加活動をきっかけに、布を使った物づくりが好きなメンバーが活動を始め、平成 28 年 2 月から賛助会員グループとして活動している。グループとしては在学中から数えて 10 年になる。自宅に眠っている着物や帯をリメイクしてバッグや小物を作り、シニア大学の授業やタウンミーティング、地元のフリーマーケットで販売し、その収益の一部を障がい者支援施設へ寄付している。また、センターの「いきいき中高年社会貢献活動支援助成金」を活用し、備品の購入や講師を招いて勉強会を開催するなど、積極的に活動している。